

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が小幅拡大した。
—— 製造業は、「悪い」超幅が小幅拡大した。非製造業は、前回調査並みの「良い」超となった。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	金属製品、紙・パルプ、 鉄鋼、食料品	自社製品への引き合いの強まり 消費税率引き上げ前の駆け込み
	悪化	はん用・生産用・業務用機械、 窯業・土石製品、繊維、輸送用機械、 木材・木製品	海外需要の減少 自社製品の販売不振
非製造業	改善	建設、卸売	公共工事受注の増加 消費税率引き上げ前の駆け込み
	悪化	対個人サービス、情報通信、 宿泊・飲食サービス、運輸・郵便、 小売	自社製品・サービスの販売不振 大型連休の反動

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。
—— 製造業は、「悪い」超幅が拡大する見通し。非製造業は、「悪い」超に転化する見通し。

(事業計画)

- 2019年度の**売上高**は、前年を上回る計画、**経常利益**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに下方修正となった。
—— 経常利益は、製造業で、コストダウン要請の強まりやスマホ関連需要の低迷などから、減益計画となっている。非製造業は、原材料価格や人件費の上昇による利幅縮小などから、減益計画となっている。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、スマホ関連需要の低迷などから、下方修正となった。非製造業では、原材料価格や人件費の上昇による利幅縮小、天候要因などから、下方修正となった。

- 2019年度の設備投資は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、幾分下方修正となった。

—— 製造業は、中長期的な成長が見込める分野での能増投資や大規模な効率化投資などから、前年を上回る計画である。非製造業は、前年の大型投資の反動などから、前年を下回る計画である。

—— 前回調査対比でみると、製造業では、投資計画の先送りなどから、下方修正となった。非製造業は、営業所等の移設・改修などから、上方修正となった。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D.I.は、「上昇」超が解消した。仕入価格判断D.I.は、「上昇」超幅が縮小した。
- 雇用人員判断D.I.は、前回調査並みの「不足」超となった。
- 資金繰り判断D.I.は、「楽である」超幅が小幅縮小した。貸出態度判断D.I.は、前回調査並みの「緩い」超となった。借入金利水準判断D.I.は、「低下」超幅が小幅拡大した。

以 上